

tängri bulmis にして「天よりなりし（命ぜられて）」の意なるべし。

達干は既に能く人の知るが如く、新唐書に突厥の官名を擧げて「凡二十八等」とせるものゝ一にして、又た達官、達幹等の文字によりて諸書に記さる、*tarkan* なる語を寫せるものなること今論を須るず。

阿史德なる名はまた突厥一部の姓なりしが如く、新唐書裴行儉の傳に「調露元年突厥阿史德温傳反」と云ひ、またその車鼻の傳に「頡利滅、李靖徙突厥羸破數百帳居之（雲中）、以阿史德爲之長」等と見ゆ。

○三十姓可汗愛女建冊賢力毗伽公主。

此の名は既に説きたる所なり、只だ建冊の二字は前に見えず、此の語も或は突厥語ならずやとも思はる可けれど、かゝる類例は他に見ざる所にして、思ふに建冊の書き誤りなるべし、冊なる字は其の形に於て最も近きものを撰べば「冉」なる可きも、漢語としては建冉なる意を解す可らず、而して突厥語に於てもかゝる言葉を知らざれば、暫らく建冊と讀みて、冊立の如き意と解釋せんとす、舊唐書廻紇傳には、代宗が「令王翊就牙張前、禮冊左殺、封爲雄朔王」の語見え、その他加冊等の文字は屢々見ゆる所なれば、建冊の語も必らずしも不當には非るべし。

○比漢主公。

主公の二字は公主の誤りなるべし。